

EZ Controller

バージョンアップマニュアル

このたびは、本製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

本書では、新しいバージョンで対応した新機能の説明を記載しています。

The graphic features the text "What's New" in a bold, red, sans-serif font. The word "What's" is smaller and positioned to the left of "New". The text is set against a background of two overlapping, semi-transparent blue circles that create a soft, glowing effect behind the letters.

2 Ver.2.3からVer.2.4について

2.1 追加機能一覧

番号	項目
1	☞「2.1.1 デジタルカメラのRAW画像データを読み込みできるようになりました。」
2	☞「2.1.2 ペーパーサイズの小さい順、または大きい順にオーダーを処理する場合、ペーパーの交換作業を少なくするため、ペーパーの交換が必要ないオーダーが優先的に処理できるようになりました。」
3	☞「2.1.3 インデックスプリントの裏面に、「オーダーナンバー」、「オーダー受付日」、「プリントチャンネル番号」を印字できるようになりました。」
4	☞「2.1.4 フォルム入力の場合に、ジャッジ画面でパスしたコマの画像データを一時的に保存するかどうか設定できるようになりました。」
5	☞「2.1.5 DSA補正のコントラストを調整する機能「オートコントラスト2」が、メディア入力の場合でも使用できるようになりました。」
6	☞「2.1.6 DSA補正のコントラスト調整において、メディア入力の場合でもシャドー部とハイライト部のコントラストを別々に調整できるようになりました。」
7	☞「2.1.7 EZ Controllerのバージョンによって異なる画像の補正の効き具合を、切り替えることができるようになりました。」
8	☞「2.1.8 17インチモニターで縦横比を保ったまま全画面表示できるようになりました。」
9	☞「2.1.9 EZ Controllerで受け付けたオーダーを、Noritsu EZLabを経由せずに直接LPS-24PROに送り、プリントできるようになりました。」
10	☞「2.1.10 登録されたオーダーごとの処理時間を計算し、オーダーごとの目安としての仕上がり時間と、登録されている全オーダーが仕上がるまでの待ち時間を表示できるようになりました。」
11	☞「2.1.11「コントローラメイン画面」が全体停止状態のときにオーダーを登録しようとすると、全体停止状態であることがわかるようにお知らせを表示するようになりました。」
12	☞「2.1.12 処理済みオーダーにメモを入力できるようになりました。」
13	☞「2.1.13 処理済みオーダーを検索する場合、「オーダーナンバー」に加え、「受付日」、「ペーパー名称」、「メモ」も検索の対象となりました。また、複数キーワードでの検索、絞り込み検索もできるようになりました。」
14	☞「2.1.14 処理済みオーダーから画像データを取り出すことができるようになりました。」
15	☞「2.1.15「ジャッジ画面」の「FUNCTIONの機能」にある「カラー変換」において、カラー変換を、選択コマだけに適用するか、すべてのコマに適用するか選択できるようになりました。」
16	☞「2.1.16 16bitTIFF形式の画像と、HD-Photo形式の画像を読み込みできるようになりました。」
17	☞「2.1.17 EZ Controller内のデータベースが正常に機能しないときに、修復するためのツールが追加になりました。」

2.1.1 デジタルカメラのRAW画像データを読み込みできるようになりました。

デジタルカメラのRAW画像とは

デジタルカメラで撮影された画像は、通常、カメラの内部で色生成が行われ、さらにJPEGやTIFFといった我々の目で見える形式に圧縮されて記憶メディアに保存されます。

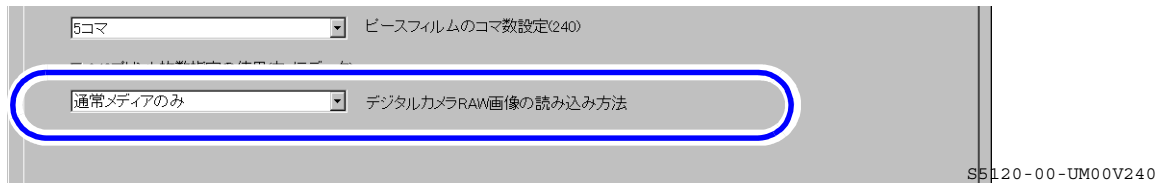
RAW画像とは、そのような色生成も圧縮もされていない無加工のデータのことです。

無加工の状態のため、画像の劣化が少なく、悪い条件で撮影された画像でも色生成がしやすくなります。

デジタルカメラのRAW画像を読み込むためには、次の画面で「デジタルカメラRAW画像の読み込み方法」の設定をします。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック 「管理ツール」 「機能選択」 「機能選択」画面で「入力動作」タブをクリック



選択項目	内容
通常メディアのみ	通常EZ Controllerで読み込みできるファイル形式の画像だけを読み込みます。RAW画像は読み込みません。
デジタルカメラRAW画像を優先	RAW画像と、通常EZ Controllerで読み込みできるファイル形式の画像の両方を読み込みます。ただし、同じファイル名のRAW画像とRAW画像でない通常の画像（例えばJPEG画像）がある場合、RAW画像だけを読み込みます。
すべての画像	RAW画像と、通常EZ Controllerで読み込みできるファイル形式の画像の両方を読み込みます。同じファイル名のRAW画像とRAW画像でない通常の画像（例えばJPEG画像）がある場合も、別の画像として両方を読み込みます。

- EZ Controllerで読み込みできるファイル形式については、スタートガイドをご覧ください。

重要

- RAW画像は、EZ Controllerの内部で特別な変換処理をしています。また画像の容量も大きいので、JPEG画像などと比べると処理に時間がかかります。
- RAW画像の拡張子は、カメラメーカーやデジタルカメラの種類によって異なります。
- RAW画像には、一部読み込みできない画像もあります。また、TIFF形式のRAW画像は、通常のTIFF画像として読み込みます。
- RAW画像では、DPOF情報に回転やトリミングの情報があっても反映されません。
- RAW画像では、EXIF情報を使用できません。そのため、EXIF情報にある日付情報をフロントプリントする設定にしている場合、日付を印字できません。
- 「プレビュー画面」では、RAW画像が表示されません。以下のようなRAW画像を示すアイコンが表示されます。



RAW画像

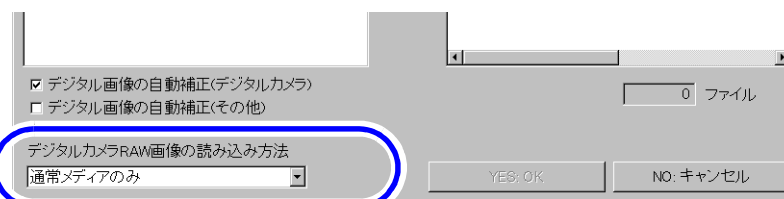
G091216V240

- 画像サイズが以下の場合は、読み込みできません。
 - 最大画像サイズが「総ピクセル数 55,910,400ピクセル（例）5,120ピクセル×10,920ピクセル」を超えるとき
 - 画像の縦横どちらか片方が10,920ピクセルを超えるとき

参考

- 「デジタルカメラRAW画像の読み込み方法」の設定は、「ファイル選択」画面にも表示され、設定を一時的に切り替えることもできます。

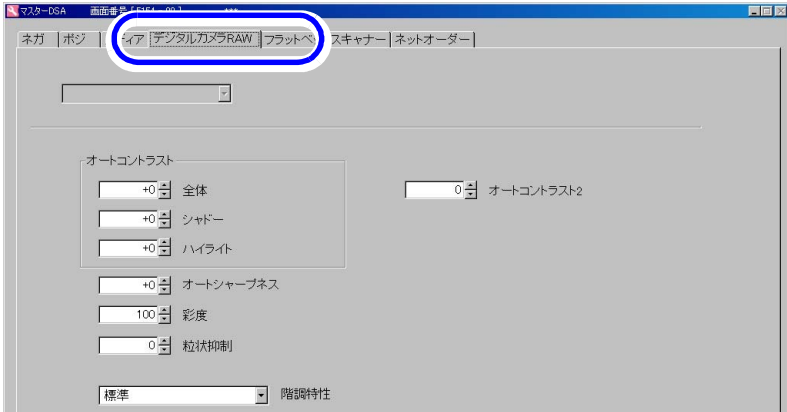

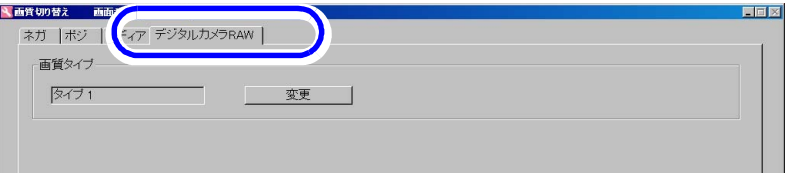
（例）「ファイル選択」画面



S0150-03-UM06V240

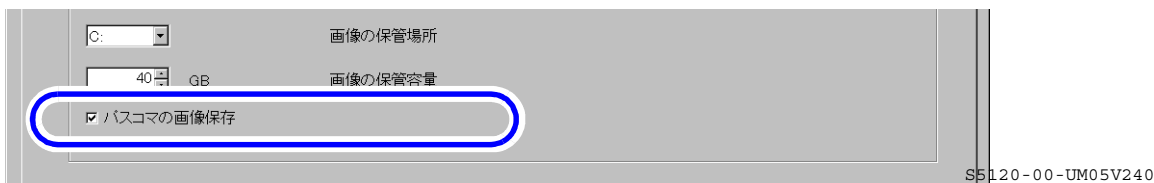
- 「ジャッジ画面」では、RAW画像のファイル名が青字になります。

- RAW画像を読み込むときには、以下の補正機能をRAW画像専用で設定することができます。

機能	内容																																								
<p>マスター DSA補正</p>	<p>入力メディアごとに設定するDSA補正で、各補正の効き具合をRAW画像専用を設定できます。</p> <p><u>画面の表示方法</u> 「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック → 「管理ツール」 → 「システム管理」 → 「画像処理設定」 → 「マスター DSA」</p> 																																								
<p>DSA補正</p>	<p>プリントチャンネルごとに設定するDSA補正で、各補正の効き具合をRAW画像専用を設定できます。</p> <p><u>画面の表示方法</u> 「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック → 「管理ツール」 → 「プリントチャンネル」 → 「プリントチャンネル選択」画面でプリントチャンネルを選択し、「設定」ボタンをクリック → 「画質設定」タブを選択 → 「DSA」ボタンをクリック」</p>  <table border="1" data-bbox="587 1106 1353 1391"> <thead> <tr> <th>データ</th> <th>ポジ</th> <th>メディア</th> <th>デジタルカメラRAW</th> <th>フラットベッドスキャナー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オートコントラスト</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>オートコントラスト(シャドウ)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>オートコントラスト(ハイライト)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>オートシャープネス</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>彩度</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>粒状抑制</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>オートコントラスト2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	データ	ポジ	メディア	デジタルカメラRAW	フラットベッドスキャナー	オートコントラスト	0	0	0	0	オートコントラスト(シャドウ)	0	0	0	0	オートコントラスト(ハイライト)	0	0	0	0	オートシャープネス	0	0	0	0	彩度	100	100	100	100	粒状抑制	0	0	0	0	オートコントラスト2	0	0	0	0
データ	ポジ	メディア	デジタルカメラRAW	フラットベッドスキャナー																																					
オートコントラスト	0	0	0	0																																					
オートコントラスト(シャドウ)	0	0	0	0																																					
オートコントラスト(ハイライト)	0	0	0	0																																					
オートシャープネス	0	0	0	0																																					
彩度	100	100	100	100																																					
粒状抑制	0	0	0	0																																					
オートコントラスト2	0	0	0	0																																					
<p>画質切り替え</p>	<p>EZ Controllerのバージョンによって異なる画像の補正の効き具合（画質タイプ）を、RAW画像専用を設定できます。</p> <p><u>画面の表示方法</u> 「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック → 「管理ツール」 → 「システム管理」 → 「画像処理設定」 → 「画質切り替え」</p> 																																								

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “機能選択” “機能選択”画面で「オーダー管理」タブをクリック



項目名	詳細説明
<input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり)	ジャッジ画面でパスしたコマの画像データを保存します。
<input type="checkbox"/> (チェックなし)	ジャッジ画面でパスしたコマの画像データを保存しません。

2.1.5 DSA補正のコントラストを調整する機能「オートコントラスト2」が、メディア入力の場合でも使用できるようになりました。

オートコントラスト2 (画像の明るさと暗さの差が極端な画像に対して、自動で各画像に応じた補正量を判定し、その差を補正する) をメディア入力の場合でも使用できるようになりました。

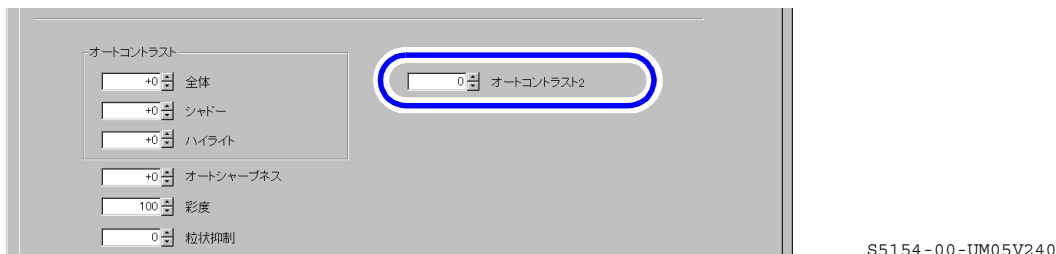
- 補正を効かせる場合の設定値は「5」を推奨します。
- 補正効果は「0から+10」の範囲で調整でき、効果を強くしたいときは設定値を大きくし、効果を弱くしたいときは設定値を小さくします。
- 設定値を「0」にすると、この機能は働きません。

この設定は、入力メディアごとに設定する「マスター DSA」、プリントチャンネルごとに設定する「DSA」、1コマごとに設定する「DSA」の3個所で行います。

入力メディアごとに設定する「マスター DSA」の場合

画面の表示方法

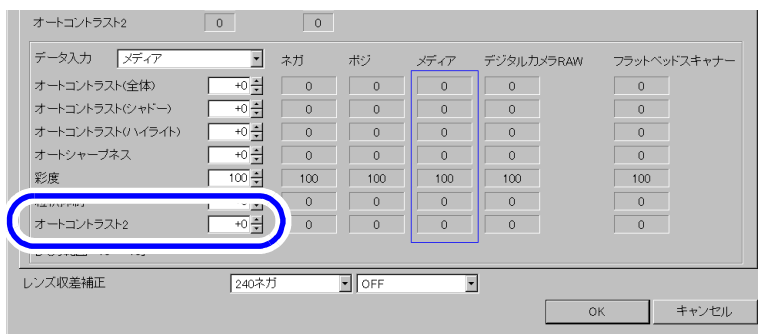
「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “画像処理設定” “マスター DSA”



プリントチャンネルごとに設定する「DSA」の場合

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “プリントチャンネル” “プリントチャンネル選択”画面でプリントチャンネルを選択し、「設定」ボタンをクリック “画質設定”タブを選択 “DSA” ボタンをクリックします。

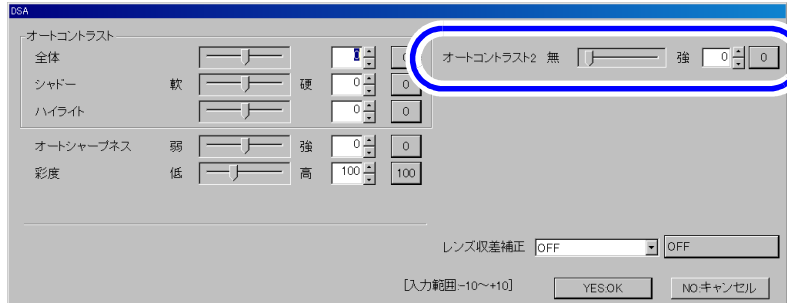


1コマごとに設定する「DSA」の場合

画面の表示方法

「ジャッジ画面」で「DSA」ボタンをクリック

「ジャッジ画面」で「F」ボタンをクリック 「FUNCTIONの機能」画面で「DSA」ボタンをクリック



S0250-00-UM43V240

2.1.6 DSA補正のコントラスト調整において、メディア入力の場合でもシャドー部とハイライト部のコントラストを別々に調整できるようになりました。

メディア入力の場合、画像全体に対するコントラスト調整はできましたが、シャドー部とハイライト部のコントラストを別々に調整できるようになりました。

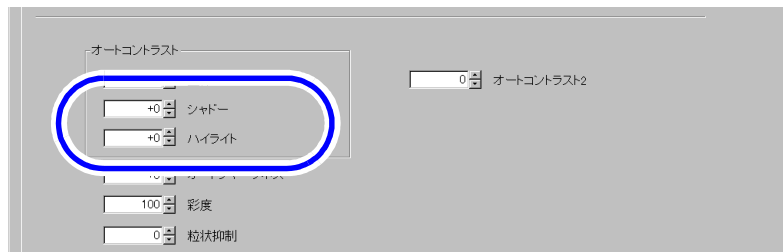
- ・ シャドー
画像内の一番暗くなっている個所のコントラストを調節します。
数値を大きくすると画面上の一番暗い個所がより暗くなり、数値を小さくすると明るくなります。
- ・ ハイライト
画像内の一番明るくなっている個所のコントラストを調節します。
数値を大きくすると、画面上の一番明るい個所がより明るくなり、数値を小さくすると暗くなります。

この設定は、入力メディアごとに設定する「マスター DSA」、プリントチャンネルごとに設定する「DSA」、1コマごとに設定する「DSA」の3箇所で行います。

入力メディアごとに設定する「マスター DSA」の場合

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック 「管理ツール」 「システム管理」 「画像処理設定」 「マスター DSA」

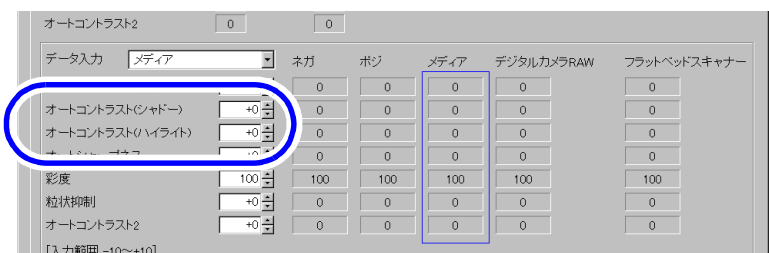


S5154-00-UM05V240

プリントチャンネルごとに設定する「DSA」の場合

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック 「管理ツール」 「プリントチャンネル」 「プリントチャンネル選択」画面でプリントチャンネルを選択し、「設定」ボタンをクリック 「画質設定」タブを選択 「DSA」ボタンをクリックします。



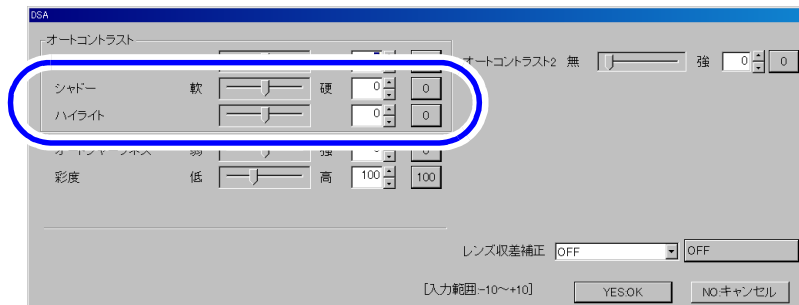
S5103-00-UM26V240

1コマごとに設定する「DSA」の場合

画面の表示方法

「ジャッジ画面」で「DSA」ボタンをクリック

「ジャッジ画面」で「F」ボタンをクリック 「FUNCTIONの機能」画面で「DSA」ボタンをクリック



S0250-00-UM43V240

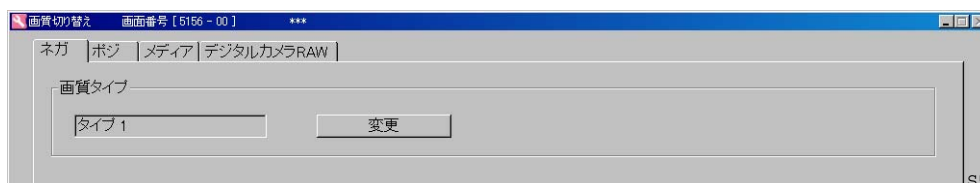
2.1.7 EZ Controllerのバージョンによって異なる画像の補正の効き具合を、切り替えることができるようになりました。

EZ Controllerのバージョンによって、画像の補正の効き具合が異なります。各バージョンの画像の補正の効き具合のことを「画質タイプ」と呼びます。その「画質タイプ」を入力の種類ごと（ネガ、ポジ、メディア、RAW画像）に切り替えることができます。

ただし、Ver2.4では画質タイプは1つだけなので、現状では使用しません。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “画像処理設定” “画質切り替え”



S5156-00-UM00V240

2.1.8 17インチモニターで縦横比を保ったまま全画面表示できるようになりました。

これまでは、17インチモニターでEZ Controllerの画面を全画面表示にすると、少し縦長に表示されましたが、EZ Controllerの設定を変えることによって、17インチモニターでも縦横比を保ったまま全画面表示することができるようになりました。

ただし、ジャッジ画面や1コマ拡大画面、エディット画面など、画像の補正や加工をしたり、フィルムやプリントと見比べる必要がある画面に対してのみ縦横比を維持します。

- ・ 設定作業は、サービスマン作業となります。コールセンターへ連絡してください。

2.1.9 EZ Controllerで受け付けたオーダーを、Noritsu EZLabを經由せずに直接LPS-24PROに送り、プリントできるようになりました。

オプションの「LPS-24PRO Connection Software」を使用すれば、Noritsu EZLabを使用しなくても、EZ Controllerで受け付けたオーダーを直接LPS-24PROに送り、プリントすることができます。

(例) 処理の流れ



G091709V240

2.1.10 登録されたオーダーごとの処理時間を計算し、オーダーごとの目安としての仕上がり時間と、登録されている全オーダーが仕上がるまでの待ち時間を表示できるようになりました。

オーダーごとの仕上がり時間と、登録されている全オーダーが仕上がるまでの待ち時間を、「コントローラメイン画面」に表示することができます。

仕上がり時間とは、オーダーを受け付けてからプリントが仕上がるまでの推定時間です。

この仕上がり時間は、あらかじめ、プリントやメディア出力に必要な目安時間を設定しておきます。その目安時間を用いて実際にそのオーダーの処理がすべて完了するまでにかかる時間を計算します。

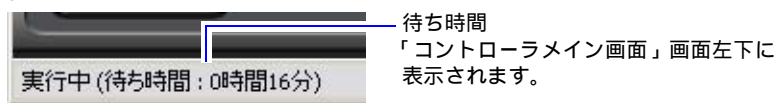
(例)「コントローラメイン画面」での仕上がり時間表示



仕上がり時間の上は、別途設定が必要なお渡し時間です。

S5001-00-UM09V240

(例)「コントローラメイン画面」での待ち時間表示



「コントローラメイン画面」画面左下に表示されます。

S5001-00-UM09V240

重要

- この仕上がり時間は、あくまで目安時間です。実際には、プリント出力とメディア出力を並行して処理したり、ジャッジ画面や1コマ拡大画面で色補正するなど、いろいろな条件によって処理時間は変わってきます。また、EZ Controllerにプリンターを1台だけ接続した場合の目安時間になります。プリンターを複数台接続し、振り分けしてプリントする場合は考慮していません。

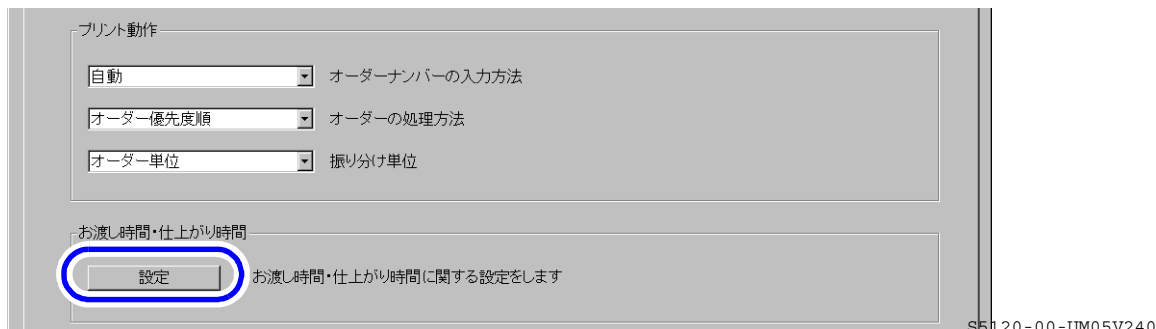
設定方法

1. 「機能選択」画面の「オーダー管理」タブを表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック → 「管理ツール」 → 「機能選択」 → 「機能選択」画面で「オーダー管理」タブをクリック

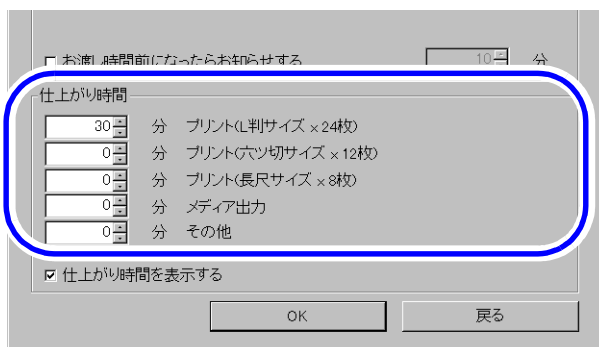
2. 「お渡し時間・仕上がり時間」の「設定」ボタンをクリックします。



「お渡し時間・仕上がり時間」画面が表示されます。

3. 仕上がり時間を設定します。

(1) プリントやメディア出力などの各目安時間を設定します。



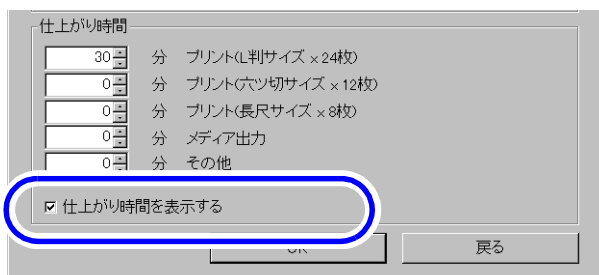
S5120-00-UM09V240

項目名	詳細説明
プリント(L判サイズ x 24枚)	ペーパー幅、送り長さともに178mm以下のサイズで24枚プリントするときの目安時間を設定します。これを標準サイズの目安時間とします。
プリント(六ツ切サイズ x 12枚)	標準サイズよりも大きく、送り長さが305mm以下のサイズで12枚プリントするときの目安時間を設定します。これを大サイズの目安時間とします。
プリント(長尺サイズ x 8枚)	大サイズよりも大きく、送り長さが305mmよりも大きいサイズで8枚プリントするときの目安時間を設定します。これを特大サイズの目安時間とします。
メディア出力	メディア出力をするときの目安時間を設定します。
その他	検品作業など、プリント以外の作業の目安時間を設定します。

参考

- 実際のプリント枚数やメディア出力枚数と、ここで設定した目安時間を用いて、仕上がり時間を計算します。
また、複数のオーダーが登録されている場合は、自分のオーダーよりも前に処理されるオーダーの仕上がり時間も加えて計算します。

(2) 「仕上がり時間を表示する」を (チェックあり) にします。



S5120-00-UM09V240

(3) 「OK」ボタンをクリックします。

「機能選択」画面に戻ります。

4. 「機能選択」画面で、「OK」ボタンをクリックします。

以上で、仕上がり時間の設定方法は終わりです。

2.1.11 「コントローラメイン画面」が全体停止状態のときにオーダーを登録しようとする
と、全体停止状態であることがわかるようにお知らせを表示するようになりました。

「コントローラメイン画面」が全体停止状態のときにオーダーを登録しようすると、お知らせ「No.10011 処理待ちのオーダーがあります EZ Controllerで処理を開始しますか？」が表示されます。

オーダー登録を継続する場合

1. お知らせ画面で、「YES」ボタンをクリックします。
お知らせ表示が消えます。
「コントローラメイン画面」の全体停止状態が解除され、オーダーの登録が継続できます。

オーダー登録を中止する場合

1. お知らせ画面で、「NO」ボタンをクリックします。
お知らせ表示が消えます。
「コントローラメイン画面」の全体停止状態が解除されたときに、オーダーの登録ができるようになります。

2.1.12 処理済みオーダーにメモを入力することができるようになりました。

処理済みオーダーにメモを入力できるようになりました。メモに特定の情報を入力しておくことで、何のオーダーであるか判断することができます。また、メモも検索対象になるので、メモの情報を頼りにすぐに検索することができます。

メモの入力方法

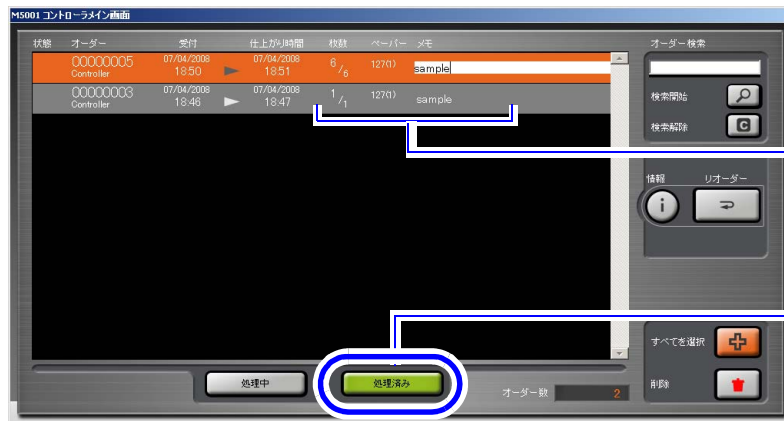
1. 「処理済み」ボタンをクリックし、処理済みオーダーの画面を表示します。



「処理済み」ボタン

S5001-00-UM11V240

2. もう一度「処理済み」ボタンをクリックし、メモが表示される状態にします。



「処理済み」ボタンをクリックするたびにこの表示項目が切り替わります。

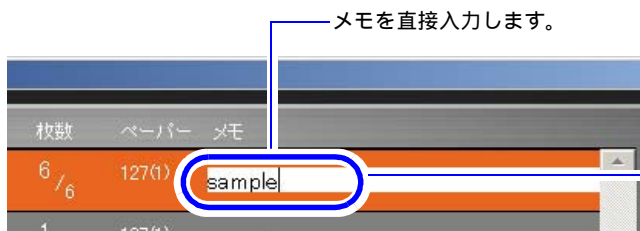
「処理済み」ボタン

S5001-00-UM25V240

3. 処理済みオーダーのメモ付近をダブルクリックします。

メモを入力できる状態になります。

4. メモを入力します。(最大127文字まで)



メモを直接入力します。

この付近をダブルクリックします。

S5001-00-UM25V240

以上で、メモの入力方法は終わりです。

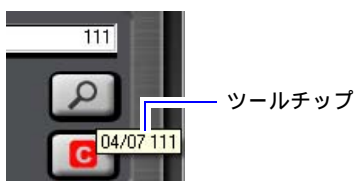
2.1.13 処理済みオーダーを検索する場合、「オーダーナンバー」に加え、「受付日」、「ペーパー名称」、「メモ」も検索の対象となりました。また、複数キーワードでの検索、絞り込み検索もできるようになりました。

- 処理済みオーダーを検索する場合、次のキーワードが検索の対象となりました。
 - オーダーナンバー / 受付日 / ペーパー名称 / メモ
- 複数のキーワードで検索できるようになりました。
複数のキーワードで検索する場合は、キーワードを空白（スペース）で区切って入力します。
- 絞り込み検索ができるようになりました。
絞り込み検索をする場合は、キーワードを変更しながら複数回検索を行います。
絞り込み検索をしている場合は、「検索解除」ボタンをクリックすると、1つ前の検索結果に戻ります。

参考

- 「オーダー検索欄」、「検索開始」ボタン、「検索解除」ボタンのいずれかの上にマウスポインターを持っていくと、絞り込み検索で入力したキーワードがツールチップで表示されます。

(例)「04/07」と「111」というキーワードで絞り込み検索した場合のツールチップ表示



ツールチップ

G091219V240

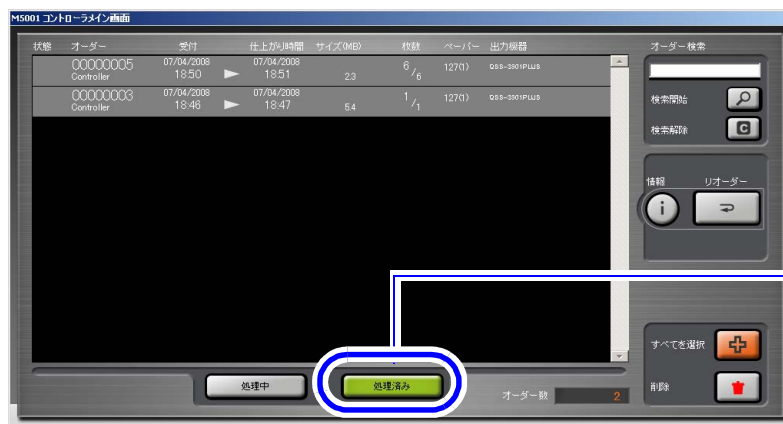
2.1.14 処理済みオーダーから画像データを取り出すことができるようになりました。

処理済みのオーダーから画像データを取り出すことができるようになりました。その画像をAdobe Photoshopなどの画像編集ソフトで再加工する場合などに便利です。

重要

- 画像を取り出せる処理済みオーダーは、「通常プリント」と「パッケージプリント」のプリントチャンネルを使用して処理したオーダーのみです。
- 取り出す画像は、オーダー内の全画像が対象ですが、オーダー登録時にパスした画像は取り出せません。
- 取り出す画像にかかる補正は、「入力イメージ」でメディア保存するときにかかる補正と同じです。

1. 「処理済み」ボタンをクリックし、処理済みオーダーの画面を表示します。



「処理済み」ボタン

S5001-00-UM11V240

2. 目的のオーダーを選択し、「情報」ボタンをクリックします。



「情報」ボタン

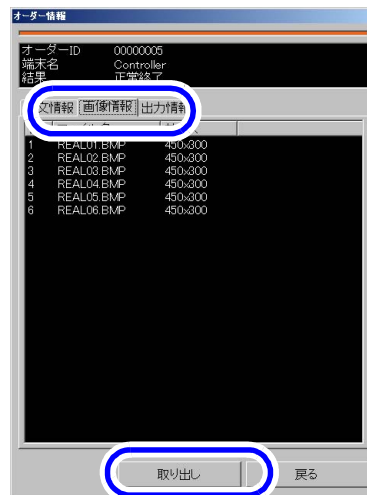
S5001-00-UM11V240

「オーダー情報」画面が表示されます。

3. 「画像情報」タブを選択し、「取り出し」ボタンをクリックします。

重要

- 画像を取り出せる処理済みオーダーは、「通常プリント」と「パッケージプリント」のプリントチャンネルを使用して処理したオーダーのみです。その他のプリントチャンネルを使用して処理したオーダーの場合は、「取り出し」ボタンが表示されません。



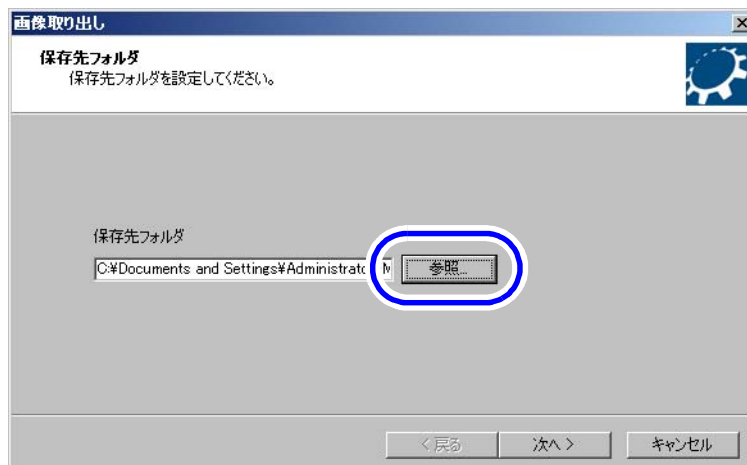
S087847V240

「画像取り出し」画面が表示されます。

4. 画像の保存先を指定します。

保存先に「CD」ドライブ、「DVD」ドライブは指定できません。

(1)「参照」ボタンをクリックします。



S091221V240

「フォルダの参照」画面が表示されます。

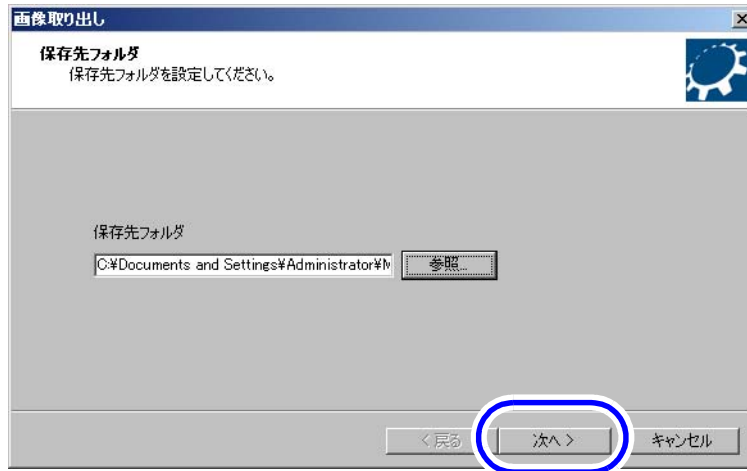
(2) データを保存するフォルダを選択します。

「JPEG」または「Bitmap」の画像が入っているフォルダは選択できません。

「新しいフォルダの作成」ボタンをクリックして、新しいフォルダを作成することもできます。

(3)「フォルダの参照」画面で、「OK」ボタンをクリックします。

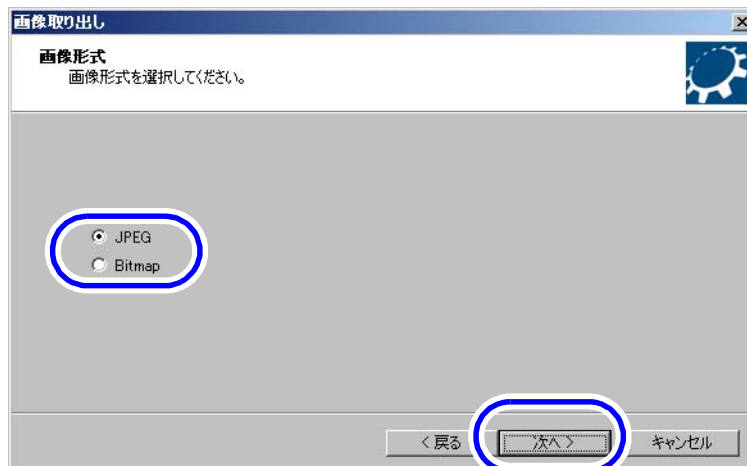
5. 「次へ」ボタンをクリックします。



S091221

画像形式を選択する画面が表示されます。

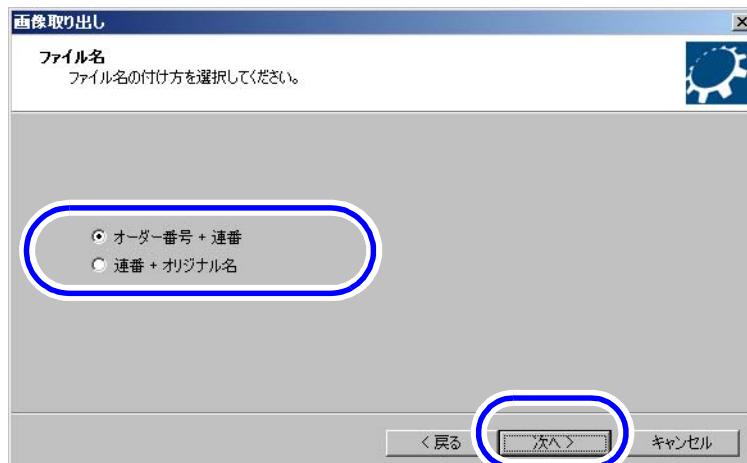
6. 画像のファイル形式を、「JPEG」または「Bitmap」から選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



S091223V240

ファイル名の付け方を選択する画面が表示されます。

7. ファイル名の付け方を、「オーダー番号 + 連番」または「連番 + オリジナル名」から選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

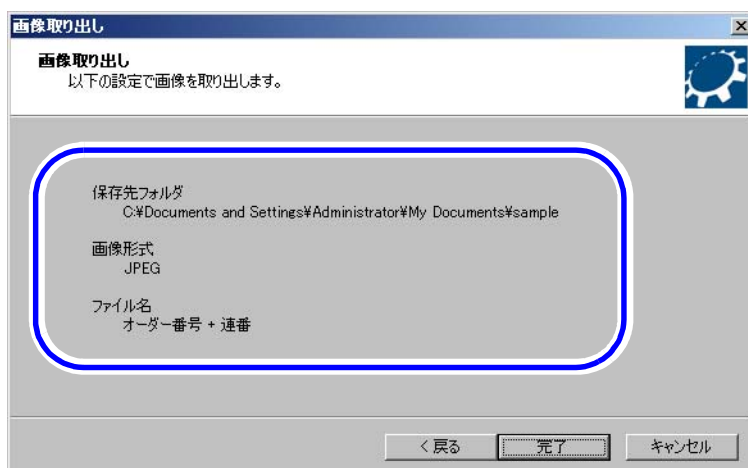


S091224V240

選択項目	内容
オーダー番号 + 連番	「オーダー番号 (8桁)+ オーダー内の連番 (4桁)」になります。 例えば、オーダー番号1234、オーダー内で10番目の画像だと、「000012340010」となります。
連番 + オリジナル名	「オーダー内の連番 (4桁)+ アンダーバー + オリジナルファイル名」になります。 オリジナルファイル名とは、フィルム入力の場合はコマナンバー、メディア入力の場合は読み込んだ元画像のファイル名になります。 例えば、オーダー内で10番目の画像、オリジナルファイル名が「ABCD」だと、「0010_ABCD」となります。

設定確認画面が表示されます。

8. 画像の保存先、ファイル形式、ファイル名を確認します。



S091225V240

参考

- オリジナルファイル名は、「オーダー情報」画面の「画像情報」タブで確認できます。また、取り出す画像のサイズも、この画面で表示されているサイズで取り出します。



S087847V240

9. 「完了」ボタンをクリックします。

画像を取り出すオーダーが、処理中/処理待ちオーダーリストに移動します。
画像を取り出すオーダーは、処理中/処理待ちオーダーリスト上では、以下のような表示になります。



-00-UM26V240

後は、通常の処理待ちのオーダーをプリント/画像保存する作業と同じです。
画像の取り出しが完了すると、お知らせ「No.10016 画像取り出しが完了しました。」が表示されます。

10. お知らせ画面で、「YES」ボタンをクリックします。

お知らせ表示が消えます。
以上で、処理済みのオーダーから画像データを取り出す作業は終わりです。

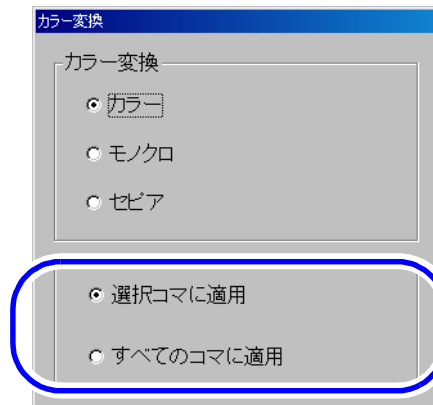
2.1.15 「ジャッジ画面」の「FUNCTIONの機能」にある「カラー変換」において、カラー変換を、選択コマだけに適用するか、すべてのコマに適用するか選択できるようになりました。

「カラー変換」機能において、画像の色を「カラー」、「モノクロ」、「セピア」と切り替えることができます。そのカラー変換を、選択コマだけに適用するか、すべてのコマに適用するか選択できるようになりました。

画面の表示方法

「ジャッジ画面」で「F」ボタンをクリック “カラー変換”

(例)「カラー変換」画面



S068055V240

2.1.16 16bitTIFF形式の画像と、HD-Photo形式の画像を読み込みできるようになりました。

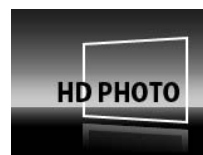
これまでの8bitのTIFF画像に加え、16bitのTIFF画像を読み込めるようになりました。また、HD-Photo形式の画像も読み込めるようになりました。

重要

- 16bitTIFF画像、HD-Photo画像どちらも、画像サイズが以下の場合、読み込みができません。
 - 最大画像サイズが「総ピクセル数 55,910,400ピクセル（例）5,120ピクセル×10,920ピクセル」を超えるとき
 - 画像の縦横どちらか片方が10,920ピクセルを超えるとき
- 「プレビュー画面」において、サムネイル画像は表示されません。以下のようなそれぞれの画像を示すアイコンが表示されます。



16bitTIFF画像



HD-Photo画像

G091216V240

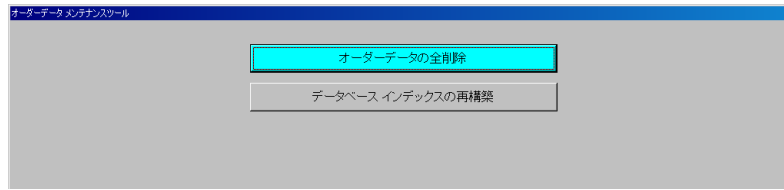
2.1.17 EZ Controller内のデータベースが正常に機能しないときに、修復するためのツールが追加になりました。

EZ Controller内のデータベースが正常に機能しないとき、エラーメッセージ「No.15006 データベースに異常が発生しました。」が発生します。その修復ツールとして、「オーダーデータ メンテナンスツール」が追加になりました。

このツールは、通常は使用しません。サービスマンの指示があった場合のみ使用してください。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “ツール” “オーダーデータ メンテナンスツール”



S091220V240